

北東京エリア ふれあいの橋の会 議事録

デイショートセンター うきま幸朋苑



【日時】令和8年9月1日（火）13時30分～15時00分

【場所】ヘルスタウンうきま

【事業所概要】平成19年4月開設

定員：デイサービス30名、ショートステイ20名

【出席者】

委員：伴野 康委員、常住 豊委員、福田 伸樹委員、風間 美子委員、新田 恵美委員

エリア：布施総合施設長 田中施設長 澳塩係長 安田主任 峰川主任

1. 開会挨拶（布施総合施設長）

本日もお忙しいところ、お集まり頂きありがとうございます。今回は、うきまデイサービスとショートステイの視察をお願い致します。それでは、まずこの1年間の新しい取組を報告させていただき、ご視察をして頂いた上で、ご意見・お気づきになられた点について、後ほど意見交換をお願い致します。



2. 新規取組報告（田中施設長）

デイサービスの取組（五丁目カフェ）：ご利用者が主体となり接客等を担う「五丁目カフェ」を開設。季節ごとに年4回開催しており、ご利用者に社会的役割を提供し参加意欲の向上を図っている。将来的には毎月開催を目指す。

ショートステイの稼働率平準化と在宅支援：介護者の介護限界点を上げる取り組みとして、ショートステイでの支援方法を在宅で実践するPDCAサイクルを実施。また、稼働率平準化の施

策として、爪切り・耳かきサービスを提供している。

認知症カフェ「トモカフェ」：北区のオレンジカフェに登録され、毎月定期開催。地域の元気な方を対象に利用料 100 円で実施。施設内の多職種（看護師、ST、OT、PT、歯科衛生士、管理栄養士）が揃っている強みを活かし、脳トレ、クラフト活動、血中酸素濃度測定など幅広いプログラムを提供している。

3. 環境点検（巡回）

会議の主要目的として、建物の 2 階に位置するショートステイとデイサービスの視察を実施。参加者は現場を直接見学し、各委員には評価表を参考資料として配布した。

【ショートステイの紹介】

- **シャワートロリーの導入**

ベッドからトロリーへの乗せ換えが簡単で、移動や入浴にかかる労力が軽減される。足踏みペダル式の油圧昇降などにより、両手を使わずに安全に高さを調節できる。寝た姿勢のまま洗うことができるため姿勢の負担が少なく、移動の恐怖感や疲労を和らげる。入浴後はスムーズにお湯が排水されるため、冷えや不快感を防ぐことができる。選択肢が増えたことによって、対応可能なご利用者の幅が広がった。

- **環境の改善**

東京都のサービス継続支援事業の補助金を活用し、冷房の拡散ファンやサーキュレーターの増設、夕日の注ぐ窓へ遮熱フィルターを貼付するなど、暑さ対策を行い労働環境と居住環境を整えた。

- **特養との連携**

特養の入所待機者の待機場所として、ショートステイをご利用いただく流れを構築。在宅生活が困難な方が他施設に移ることなく生活を継続でき、空きが出次第スムーズに特養へ入居することが可能となった。



【デイサービスの紹介】

- **イベントの拡大**：近年のイベント拡充はケアマネジャーやご利用者に広く認知されているが、新たにボランティアや職員による新企画を提供している。「なんとなく体調が悪い」と利用を控えられの方に対し、甘酒や豆乳などの飲料の効果を説明し召し上がっていただく健康増進イベントを立ち上げ、デイサービスのご利用と在宅生活の維持を支援している。視察では、午後の頭の体操レクリエーションと書道レクリエーションの様子をご見学いただいた。また、ショートステイや特養にもイベントポスターを掲示しており、他サービスのご利用者・ご家族にも好評である。



- 環境の改善

デイサービスにおいても、東京都の補助金を活用して冷房の拡散ファンや全トイレへのサーキュレーター導入、西側テラスの全窓に日除けを設置し、環境を整えた。

- 【玄関】

- 6月28日開催の「こうほうえん祭り」のために設置した飾り付けについて説明を行った。



4. 視察後の質疑応答・意見交換

- 伴野委員：季節ごとのイベントは楽しみにできるため継続してほしい。郵便局のお客様にも利用者がおり、高齢化の中で施設の必要性が高まっている。朋カフェもぜひ地域に広めていきたい。
- 伴野委員：豪雨対策はどうなっているか。
- 施設側：BCP計画を策定済み。荒川氾濫時は3階屋上、新河岸川氾濫時は2階屋上への垂直避難を基本としている（北区は高台避難を推奨しているが現実的ではないため）。食料品・備蓄（地域の方100人分×3日分）は3階以上に移動させ、各フロアに発電機を配備。後日、開設訓練も予定している。
- 風間委員：熊本地震では施設を頼って住民が来て食事がなくなった事例がある。
- 施設側：区のリスト（救援名簿）に従い、要介護者等を受け入れる方針となっている。
- 福田委員：久しぶりに来苑し、それぞれの高齢者へ工夫を凝らし刺激に気を遣っていると感じた。女性の利用者が圧倒的に多い。男性は特性から集団が苦手な方もいるが、本人も家族も介護の悩みは抱えているため、男性がより利用しやすいサービスを提供して欲しい。
- 常住委員：職員の対応が良く、利用者も落ち着いている。自身も認知症家族の介護経験があるが、音楽（ジャンルによって効能が違う）を流してはどうか。また、利用者が孤立しないよう対話をする努力、声をかけることが重要。回想法などで心の支えや喜びになるのではないかと。布施設長：貴重なご意見ありがとうございます。
- 風間委員：先輩にあたる方が利用されているデイサービスで「話ができず孤独で行きたくない」と言っていた。一方で、視察の際に利用者に話を伺ったところ「ご飯が食べられ、お風呂

に入れて安心。猫を連れてきたい」と満足している声もあった。環境面はきれいだが、床に水がこぼれていたため安全面に留意してほしい。独居の方のサービス利用は可能なのか。

- **施設側**：独居の方もケアマネジャーのマネジメントや、別居であってもご家族の協力のもとサービスをご利用いただいている。
- **新田委員**：施設の雰囲気が良い。天井のファン設置、匂いがない点、ショールームの暖色系の照明、ポスターの場所の心遣いが素晴らしい。曜日固定ではなくイベントで選択できる点も素敵である。
- **施設側**：今後の新しいサービスとして、今年度中にデイサービスで「難聴対策（高品質音響療法）」と「歩行バランス測定（専用靴で分析）」を展開予定。介護保険外サービスも含め、利用者の体調を整え、在宅生活の継続を支援するワンランク上のサービスを目指している。

布施施設長：お話が尽きませんが、お時間になりましたので、ここまでとさせていただきます。
次回は、11月10日(火)9時30分から11時30分、一般保育園と夜間保育園にて開催を予定しております。本日はありがとうございました。

